

評価結果の反映状況

中 退 共

1.運用の目標

評価報告書における指摘事項	指摘事項に対する対応等	対応時期
平成22年度 累積欠損金が増加していることから、累積欠損金解消計画に基づき、今後ともその早期解消に向けて努力することが期待される。	資産運用に当たっては、中退法等に則り、安全かつ効率を基本として実施し、また、中退共制度の健全性の向上に必要な収益を長期的に確保するため、運用の基本方針に定めた、最適な資産の組み合わせと考えられる平成23年4月1日改定の基本ポートフォリオに沿った資産配分を行い運用を行った。 平成23年度の収益状況（費用控除後）は、自家運用で290億円、委託運用で366億円、全体で656億円を計上し、決算運用利回りは1.80%となった。その結果、当期総利益316億円となり、累積欠損金は2,058億円から1,741億円に減少した。	平成23年度
制度の安定的運営に必要な収益が確保されるように、引き続き努力することが期待される。		

林 退 共

1.運用の目標

評価報告書における指摘事項	指摘事項に対する対応等	対応時期
平成22年度 累積欠損金が増加していることから、累積欠損金解消計画に基づき、今後ともその早期解消に向けて、安全かつ効率を基本として、制度の健全性の向上に必要な収益の確保に努力することが期待される。	累積欠損金の解消に向け、平成17年度に策定した「累積欠損金解消計画」に基づき、安全かつ効率を基本として、基本ポートフォリオに沿った資産配分を維持して運用を実施した結果、平成23年度末の累積欠損金は、前年度末と比較し1億5百万円減少し、13億4百万円となった。	平成23年度